

年間テーマ「子どもの心とからだの健康」
 平成30年度 第2回
 家庭教育学級のご報告

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は第2回家庭教育学級のご報告をいたします。

10月13日(土)に矢野先生をお招きし、『理科実験イベントー身近な科学を体験しようー』を2部に分けて開催いたしました。3・4年生対象の1部は54名、5・6年生対象の2部は18名の児童の参加でした。

一度は目にしたことあるドライアイスを使い、テーブルの上を滑らせたなら？コインを刺してみたら？小さな容器に閉じ込めてみたら？と疑問をもとに子ども達が実際に体験をしながら、ドライアイスの性質について先生と一緒に考えていきました。

高学年では、実験から分かったドライアイスの性質をより深く理解するために、風船にドライアイスを入れ、膨らんでいく様子も観察しました。



ドライアイスホッケー



10円玉を刺したらダンスしました



先生の手元にみんな注目



金づちで砕いてドライアイスの硬さを確認しました



校長先生が膨らんでいく風船を持っています



ドライアイスの水に入れて洗剤も入れてみました

先生からの疑問の投げかけには、子ども達から様々な意見が飛び交い、実験後のインタビューでも全部おもしろかったという感想もでるほど、みんな夢中になっていました。

最後には、子ども達からもっと実験がやりたいと終わりを惜しむ声もあがり、有意義な時間となりました。

～1部に参加していただいた副校長先生からのコメント～

人は興味があることを前にと目が輝きます。今日のみんなは、目がとても輝いていて良かったです。

～2部に参加していただいた校長先生からのコメント～

先日、日本人の方がノーベル賞を取りました。そういう方々は、きつとこういった実験をたくさんやっているのだと思います。こういう勉強をみんなができて良かったです。

以上をもって第2回家庭教育学級の報告とさせていただきます。